

## イヌパルボは進行が早い伝染病。 早めの治療が肝心です。

パルボウイルス感染症は1978年にアメリカで発生し、あっという間に世界中にひろがりました。たいへん強いウイルスで、ちりやほこりに混じって6~7カ月も生きのび、ふつうの消毒、殺菌剤は効きません。

感染した犬の糞が感染源となるほかに、ウイルスが人の衣服や靴について運ばれることもあり、油断できません。

感染すると元気がなくなり、嘔吐や脱水症状、下痢、食欲不振などの症状がみられます。進行が早く、子犬では死亡することも多い大変恐ろしい伝染病です。

インターキャット®は、イヌパルボウイルス感染症の治療薬として認可された唯一の薬で、早めの投与で効果を発揮します。

こんな症状が  
みられたら  
すぐ当院に  
ご相談ください。

- ☆急に元気がなくなった。
- ☆食事をまったくくつけけない。  
食べてももどしてしまう。
- ☆熱っぽい。
- ☆下痢が止まらず、  
だんだんひどくなる。



## イヌパルボはワクチンでの予防が基本です。

犬を飼いはじめたら、必ずワクチン注射をしましょう。

詳しくは当院におたずねください。

# イヌパルボウイルス感染症の 新しい治療薬 ネコインターフェロンについて



動物用医薬品(要指示) ネコインターフェロン(組換え型)製剤

**インターキャット®** 劇

Intercat®

# インターフェロンってなーに!?

インターフェロンによる  
サイトカイン療法のしくみ

## インターフェロン③つのはたらき

インターフェロンは、もともと人や動物の  
細胞がつくりだす物質で、

① はたらき

**ウイルスの増殖をおさえる**

② はたらき

**体内に侵入した病原体と戦う機能(免疫)に  
はたらきかける**

③ はたらき

**腫瘍をおさえる**

などの作用をもつことが  
知られています。



## ウイルスに対するはたらき

ウイルスは、細菌とちがって人や動物の細胞の中まで  
入り込み、その中で自分の複製をつくって増えていきます。  
インターフェロンは、人や動物の細胞自体をウイルスが  
増殖できないような状態にしたり、免疫力を高めることで  
ウイルスをおさえます。  
つまり、ウイルス病の原因をもとから断つのです。

ウイルス病の原因を  
もとから断つ!!

ネコインターフェロン製剤インターキャット®は、猫では、ネコカリシウイルス感染症、  
また犬では、イヌパルボウイルス感染症の治療薬として認可されています。

